

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	コンビニ（店長）	来客数の動き	・正月の客の動きがとても良く、来客数は前年比110%であった。売れている高単価のアイスクリームやデザート、菓子などを更に売り込むとともに、前年割れの商品を細かくチェックしててこ入れを行い、回復を図ったことで、売上は前年比108%となっている。
	やや良くなっている	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・正月の初売りは来客数も多く、売上が非常に伸びた。寒さが厳しいため、衣料品や季節品の売上也好調である。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・冬物がクリアランスに入り、売上、販売数量共に前年を上回っている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・単価の下落が止まったようで、1点当たりの単価、客単価共に前年より上昇傾向にある。消費者に余裕が出てきたようである。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車の発表が相次ぎ、今まで買い控えをしていた客が購入するケースが増えてきている。新車以外の車種においても商談に至るケースが非常に多くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・正月休み明けから新型車の予約受注を取り始めたので、来客数、受注台数共に増加している。
		乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・3か月前に比べ、展示会への来客数がかなり増えている。少しずつではあるが、良くなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・客単価はさほど変わっていないが、前年に比べ各企業の課単位の顔合わせ等が若干増えているようで、利用者数も前年より増えつつある。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・例年1月に比べ今年の加入数は割と多い。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・1月は寒い日が続いたが、天候は非常に安定していたので来客数を確保できた。周辺コース一帯も一定の来客数を得たようである。
	その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	お客様の様子	・深夜から明け方まで、客の行動が広がりつつある。インターネットカフェも営業している関係でゲーム機などもおいてあるが、夜中の3～4時ごろが一番のピークになっている。支払う金額も大体通常1～2千円ぐらいであるが、そのくらいの額だとお金を使うことに戸惑いがなく、非常に動きが良い。	
	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・不動産は売り物件が不足しているものの、まだ地価が安いので地主がなかなか手放さない状態である。そのため、仕入れやすいところでは単価が上昇している。	
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・大雪と寒さのために人の動きが鈍く、街全体でも人の動きが少ない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・正月であるが、寒波が厳しいために人出は悪い。売出しの店などには少なからず人が入っているものの、あまり品物は動いていない。
スーパー（経営者）		販売量の動き	・3か月前と比べ、1点当たりの平均単価は下がっているが、買上点数が増加しているため、客単価は前年並みになってきている。	
スーパー（統括）		販売量の動き	・正月の福袋は前年比105%で用意したが、昨年より早い時間で完売した。防寒衣料、暖房用品は引き続き好調に推移している。豪雪、低温による野菜の高騰で消費意欲が減退し、1点単価は上昇したものの買上点数は下落している。晴れの日での支出は惜しみなく出すが、普段の生活では節約志向がうかがえる。	
衣料品専門店（経営者）		来客数の動き	・例年にない降雪と寒さの影響が、客の出足がほとんどない。	
衣料品専門店（店長）		来客数の動き	・初旬の各地での大雪による災害や寒さの影響で購買意欲が低下したのか、来客数が前年に比べ極端に減少してしまった。冬物処分のセールで盛り返したものの、総体的に売上が前年比約15%減少している。	
衣料品専門店（販売担当）		来客数の動き	・12月からの寒さが続いており、昨年やそれ以前の1月に比べると客の動きはかなり良い。厚手の物が引き続き好調である。	

	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・地域柄、雪害で車の破損による台替えは少々発生したものの、全体的に販売台数が伸びない。
	住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・来客数は増加しているが、販売数量は減少している。
	高級レストラン (店長)	お客様の様子	・売上自体は前年比102%と多少プラスであるが、客の価格に対する態度は依然慎重であり、回復にはまだ時間が掛かる。
	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・スキーシーズンということもあり週末の入込は良いが、ウィークデーは年々落ち込んできている。団体客を効率良く取り込んでいければ見込みも立つが、現状はかなり厳しい。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・宿泊者数が若干上がってきていたが、降雪のために団体客のキャンセルが相次ぎ、結果的には横ばいとなっている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・例年、新年会などで少しは動く時期であるが、今年は新年会は特別行わないという客が多い。
	観光名所(職員)	お客様の様子	・新年会シーズンの客の入込、売上状況は例年並みである。天候に恵まれたこともあり、各種催物等の入込は順調である。
	ゴルフ場(副支配人)	来客数の動き	・前年に比べて若干良いような気もするが、経費減が遅れている分だけ収支が悪くなっているため、総じて変わらない。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・例年1月は成人式の着付け、化粧等の売上が期待できる時期であるが、技術料を4割カットで依頼されている着物販売業者からの紹介客が昨年から増えており、客単価は下がっている。子供が減っていることもあり、紹介は有難いが、成人式は短時間に客が集中するため、アルバイトを雇って経費が増える。その分、利益は減少するため、3か月前と比べるとそう変わってはいない。
	その他サービス [自動車整備業](経営者)	販売量の動き	・今年度も残すところあと2か月となったが、依然として車検の入庫は鈍感で、前年と比べ入庫、売上共に1割の減少が続いている。
	設計事務所(所長)	来客数の動き	・しばらく前から景気は悪いまま変わっていない。住宅や他の用途の建物の新築計画の話は聞かず、設計依頼の件数も極めて少ない。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・地価の下落はやや止まったようだが、まだ価格の安い物件に引き合いが多くみられる。廃業する店が段々増え、旧商店街の空洞化がますます目立ってきている。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・今年の正月休みはとても寒く、家族連れは暖房が効いて店舗がそろった大型店に行ってしまう。我々旧市街の商店街には正月といっても数えるほどの人しか来ていない。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・バーゲン客以外はほとんど客入りがなく、これが中心商店街かと情けなくなるほどである。
	衣料品専門店(統括)	来客数の動き	・2日には初売り、3日が商店街の売出し、9日には初市でダルマ市が行われたが、買物をする人は少ない。人出はほどほどにあるが、なかなか購買意欲がないようである。
	その他専門店 [携帯電話](営業担当)	販売量の動き	・せっかく新商品が出そろったのに、品不足で希望者に行き渡らない状況である。
	一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・新年会シーズンにもかかわらず、新年会と思われる団体客は数日のみであり、あとは毎月の仲間同士の集まりで、単価的にも売上増には結び付いていかない。
	旅行代理店(経営者)	それ以外	・都会の景気は多少上向きということだが、当地区では3本柱の建築や建設、飲食、観光レジャー関係、いずれをとっても大変厳しい状況である。
	タクシー運転手	単価の動き	・1月に入って天候が安定しているため、昼間のタクシー需要が落ち込んでいる。新年会シーズンも盛り上がり欠けている。
	設計事務所(所長)	来客数の動き	・毎月少しずつ設計依頼が減少している。
	悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き

		一般小売店〔衣料〕（経営者）	来客数の動き	・冬物衣料は12月中にかなり売り尽くしたので、毎年そうであるが今月の売上はない。新学期に向けて学販関係の営業を開始しているが、思うような売上にはつながらない感じがしている。街全体も観光業が低迷しているため、沈んでいる状態が続いている。大変寂しい限りである。
		コンビニ（店長）	それ以外	・10年来という寒波の襲来で来客数が大きく落ち込んでおり、売上も上がっていない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・12月は割と良かったが、忘年会はしても新年会はやらないという風潮が強まってきているようで、1月は悪かった前年同月の7割程度である。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・エリア内の同業各社全体が、前年同月比で10%以上落ち込んでいる。
企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・予定どおりに今月から賃貸面積の大きいテナントが入居したことで収入が増加している。
		食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べて商品の動きが良く、前年同月比でも出荷数量が増加している。
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・工場は忙しく、納期に追われ全員がばて気味になっているほどである。注意が散漫になってきているのではないかと、特に安全に気を配っている。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注がこのところ特に多く、雇用が大変なくらいである。特に技術者の確保が大変になってきている。	
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・製造業では、プラスチック成型などの自動車部品、機械金属製品等を中心に順調に推移しており、設備投資の資金ニーズが出始めている。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は104%と順調に推移している。内容も大型化が目立つようになり、復調がうかがえる。また、車、化粧品ほか、今まで小売店の出稿が多かったものが、メーカーからも来るようになってきている。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・製品開発、販路開拓、経営管理のレベルアップなど、新規事業活動への取り組み意欲が増している。ただし、本業基盤の上に立って発展を見込むものと、本業における苦境打開を目指すものと、好対照をなしている。	
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	取引先の様子	・収益の改善がなされ、活気が出てきた取引先が増えてきている。設備投資も前向きな投資で大型のものが出始めてきている。
変わらない	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・円安傾向が続いているにもかかわらず、安価な輸入ワインが市場の大半を占め、国産の低コスト物が苦戦を強いられている。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・前年9月ごろから続いている状況であるが、今月の売上も前年同月を上回っている。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売店舗では正月は売れたというが、卸の段階では商品は動いていない。1月後半から都内で行った宝飾品展示会の売上は前年を上回っており、多少の明るさはみえている。	
	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・商業、サービス業、不動産業から新規のスポットコマースの引き合いが出てきているが、期間が短く、小口化している。中長期契約の官公庁、大手製造業、通信業からのタイムコマースが年度下半期から減少傾向にある。広告の多様化により競争が激しく、売上高は横ばいであるが利益は減少傾向にある。	
やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・例年の特注品が絵柄変更により中止となり、打撃を受けている。この時期は毎年受注の谷間であるが、例年と比較すると店頭商品関係の受注はいくらか動きがある。しかし、その内容は少数かつ短納期のものばかりで、生産予定の急な変更を余儀なくされて、段取り等で大変に苦慮している。	
	一般機械器具製造業（生産管理担当）	取引先の様子	・年初に予想していたほどの仕事量は出ていない。また、トラック関連の加工を手がけている取引先から、仕事が減ったのでそれを埋める仕事が欲しいという依頼がきている。	

		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前には1月は上昇すると見込んでいたが、現状では前年比横ばいもしくは若干減少というところである。これから3か月の見通しも月ごとに数量が落ちてきているので、後退気味である。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・寒波のあおりを受け、昨年末好調であった石油暖房機及び電気式暖房機や、加湿器などの関連商品が本年分を先食いした形で、例年よりも激しく落ち込んでいる。
	悪くなっている	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・当社は公共事業主体で土木、舗装中心の建設業者なので大変厳しい状況が続いている。受注競争が激化して相変わらず赤字覚悟で受注している業者が見受けられ、先が心配である。
雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・12月中旬から年初まで求人の動きが大変悪かったが、1月中旬から急激に求人数が伸びてきている。来月6日にアウトレットの合同面接会もあり、求人は活性化している。
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人が非常に多岐にわたってきており、依頼数も増えてきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・例年1月は求人数が増えるので期待していたが、かなりの増加となっている。年末で辞めてしまった分を新しく採用するとか、新しい事業展開がスタートするとかで倍近くなっているところもある。反応は相変わらず悪いが、求人数は増加している。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業を中心に求人意欲がおう盛で、求人数が増加している。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求職者数は1,500人を下回り、過去1年間で最低の数字を示し減少傾向に大きな変化はみられない。有効求職者数は、新規求職者数の減少にもかかわらず、3か月連続前年比で増加しており、早期就職を希望しながらも雇用形態、労働条件等のミスマッチで就職までに時間を掛けざるを得ない状況がうかがえる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は製造業で増えているが、増加のほとんどは派遣、請負求人であり、求職者が希望しない求人条件の厳しい内容のものが多い。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は増加傾向にあるが職種に偏りがあり、求職者の希望に添う求人はまだ少数である。非正規雇用や有期契約の求人も相変わらず多い。
学校〔大学〕（総務担当）		採用者数の動き	・学科により差があるが、就職希望者の内定率は約85%で先月と変化がない。	
やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	採用者数の動き	・前年と比べると仕事量が減り、働く人が少しだぶついている。	
	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・12月までは求職者数、求人数共に順調に増えていたが、年明けから求職者数は増えたが求人数が横ばいで推移している。	
	悪くなっている	-	-	-